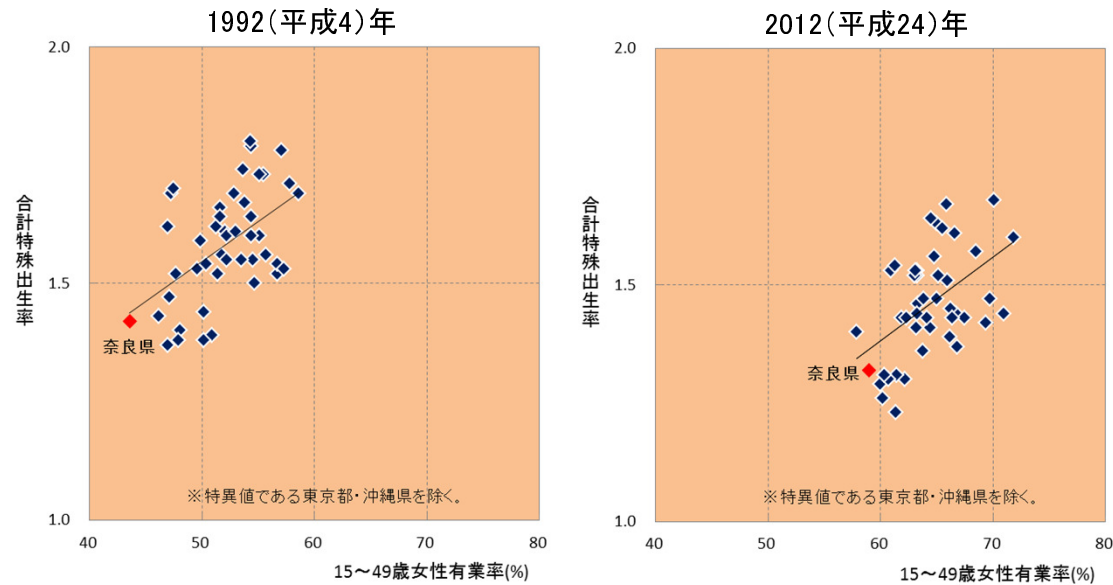


5 子育て環境と出生率

(1) 女性の就業率と合計特殊出生率(全国)

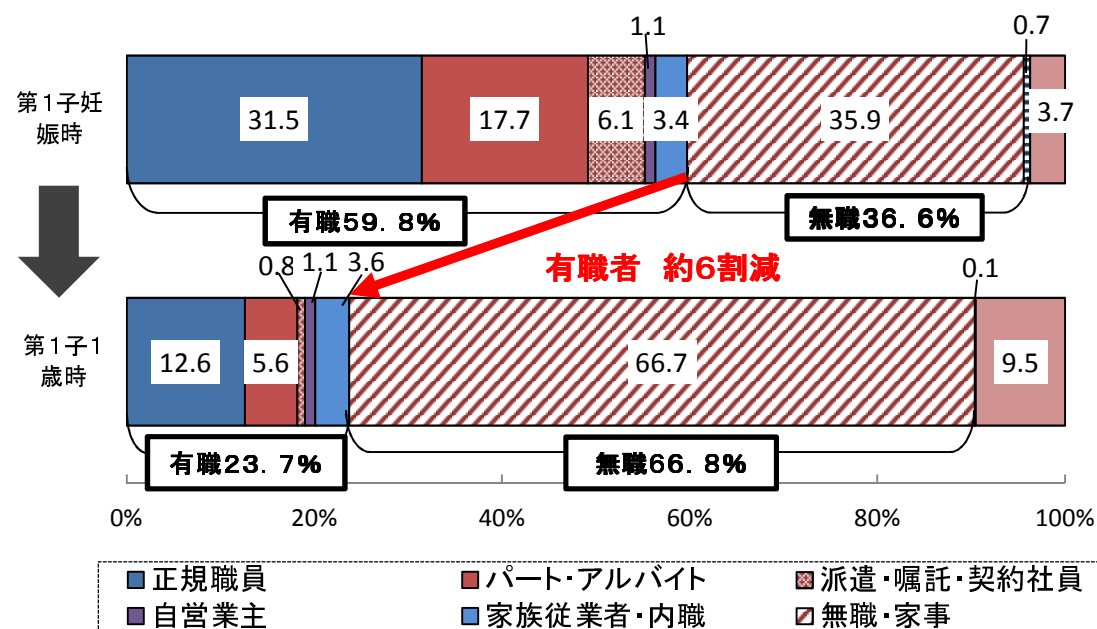
○1992年からの20年間で、全体的に女性の就業率が上昇し、合計特殊出生率が低下したことで、やや右下に移動しているが、依然、**女性の就業率と合計特殊出生率は、正の相関**がある(弱い相関。東京都・沖縄県を除く)。



総務省統計局: 就業構造基本調査 厚生労働省: 人口動態統計

(2) 女性の出産前後の就労継続の状況(奈良県)

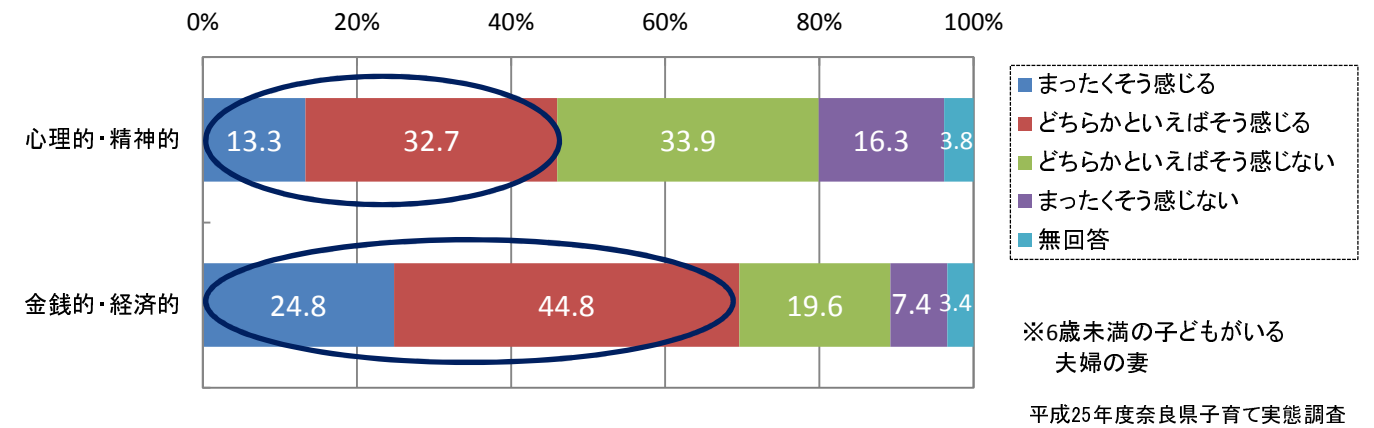
○第1子の妊娠時に就労している妻の割合は約6割だが、第1子が1歳になった時には約2割に低下し、無職が約7割となっている。すなわち、**働く女性の約6割が第1子を機に退職**している。



平成25年度奈良県子育て実態調査

(3) 子育て中の妻の不安感・負担感(奈良県)

○6歳未満の子どもがいる夫婦の妻の約半数が、子育ての「**心理的・精神的な不安・負担**」を感じており、「**金銭的・経済的な不安・負担**」を感じている割合は、約7割にのぼる。

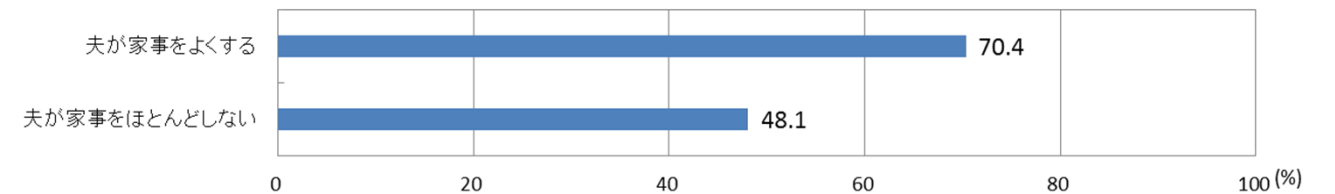


※6歳未満の子どもがいる夫婦の妻
平成25年度奈良県子育て実態調査

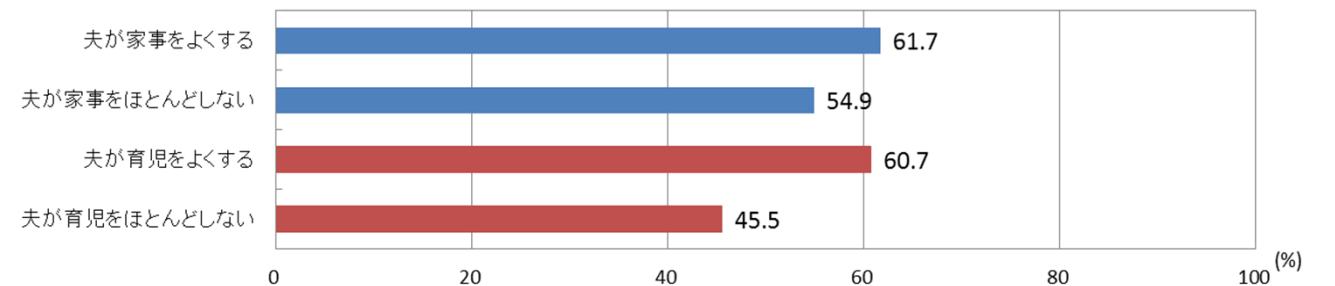
(4) 夫の家事・育児遂行と今後子どもを持つ予定の有無(全国)

○「子どもがいない妻」「子どもが1人いる妻」のいずれも、夫が家事を「ほとんどしない」場合よりも、「よくする」場合の方が、今後子どもを持つと考える割合が高い。
○「子どもが1人いる妻」の今後子どもを持つことへの意欲について、夫の家事の関わり度よりも、育児の関わり度の方が影響を与えている。
○**夫が家事や育児に積極的に関わっている家庭ほど、子どもを持つことへの妻の意欲が高くなる傾向。**

【子どもを持たない妻が今後子どもを持つ予定がある割合】



【子どもを1人持つ妻が今後子どもを持つ予定がある割合】



第5回(H25)全国家庭動向調査(国立社会保障・人口問題研究所)
※40歳未満の妻について集計